

2001年度資格取得状況
一人多資格を目指して合格者増加

各種資格・検定試験
申込者・受験者・合格者数一覧
(2002年3月末現在)

2001年度の資格取得・大学院進学状況がまとめられ、前年度に比べて全体で合格者数が162人となり、40人増加した。

検定・試験等	申込者数	受験者数	合格者数
宅建主任者試験			8
国家2種			1
その他の国家公務員			7
地方公務員			5
警察消防			4
公務員関係合計			17
簿記検定2級	63	50	8
簿記検定3級	84	71	18
簿記検定1級	1	1	0
簿記受験者合計	148	122	26
販売士3級	21	18	15
販売士2級	18	12	3
販売士合計	39	30	18
ファッションナルプランナー	9	9	4
中国語検定4級	4	4	1
英検2級	8	6	3
英検準2級	10	8	4
英検受験者合計	18	14	7
TOEIC(500点以上)	45	40	4
ワープロ検定3級	1	1	1
ワープロ検定2級	1	1	1
ワープロ受験者合計	2	2	2
初級システムアドミニストレータ			7
MOUS試験(Word)一般	51	51	13
MOUS試験(Excel)一般			4
パソコン検定3級	43	38	8
秘書技能検定準1級	2	2	1
秘書技能検定2級	14	13	4
秘書受験者合計	16	15	5
色彩検定2級	12	11	5
色彩検定3級	8	8	6
色彩受験者合計	20	19	11
国内旅行主任			2
一般旅行主任			1
旅行主任合計			3
漢字検定2級	25	20	1
漢字検定準2級	21	18	12
漢字受験者合計	46	38	13
大学院(修士課程)			11
合計	441	386	162

大学院(修士課程)合格

滋賀大学大学院(経済学研究科経営学専攻)
立命館大学大学院(法学研究科民法専攻)
大阪学院大学大学院(法学研究科)
大阪学院大学大学院(国際学研究科)
カナダ・トロント大学大学院(東洋学研究科)
京都産業大学大学院(法学研究科法律学専攻)
大阪商業大学大学院(地域政策研究科)
阪南大学大学院(企業情報研究科) 2名合格
龍谷大学大学院(法学研究科)
大阪産業大学大学院(経営学研究科)

書籍紹介

「九州自然歩道を歩く」

著者:田嶋直樹さん
1994年度
経済学部卒業



出版:葎書房
(2001年11月15日発行)
定価1600円+税

著者略歴:大学時代は格闘技のサンボに打ち込み、57キロ以下級で学生2位。大学卒業後は、広告代理店、人材派遣会社を経て、1999年8月から2000年7月まで自転車での日本一周1万3000キロ走破を果たす。2001年2月より自然歩道をつないで徒歩による日本縦断に挑んでいる。BIGLOBEのホームページ『Global Nature Life』で自然歩道縦断トレッキングの紀行文を連載。現在、フリーランスライター。2001年度「自然歩道関係功労者」として環境省より表彰を受ける。

最近の主なクラブ活動・戦績紹介

テコンドー部

アジアテコンドー選手権大会(ヨルダン)
樋口清輝(99E) 男子バンタム級
3位銅メダル獲得
アジアテコンドー選手権大会全日本代表選考会
樋口清輝(99E) 男子バンタム級 1位
荒井 望(99L) 女子フィン級 1位
小寺 昭子(98L) 女子フライ級 1位
優勝者は2002年ヨルダンアジア
テコンドー選手権に出場

2001年度第21回全日本テコンドー選手権大会
(東京都立夢の島総合体育館)
小寺 昭子(98L) 女子フライ級 1位
樋口清輝(99E) 男子バンタム級 1位
荒井 望(99L) 女子フィン級 2位

競技スキー部

第75回全日本学生スキー選手権大会(安比高原)
総合男子2部 12位(31点)
総合女子3部 15位(10点)
村下達也(99E) 男子コンバインド 4位
岡田みどり(98E) 女子回転 6位
第57回国民体育大会冬季大会(赤倉・妙高)
岡山県代表
村下 達也(99E)、
川合潤一(01E)
大阪府代表
藤田友洋(98E)、
岡田みどり(98E)
滋賀県代表
上松和人(98E)
京都府代表
山田大地(98L)
鳥取県代表
藤原孝志(01E)

ソフトボ-ル部

関西学生春季リ-グ戦(男子1部)優勝
(4季連続5度目)
全日本学生選手権大会出場権獲得。

卓球部(男子)

関西学生春季リ-グ戦(男子1部)
全勝優勝(19季ぶり2度目)

柔道部

第21回関西柔道体重別選手権大会
前田竜也(99L)男子60kg以上級 3位
大礪弘一(01L)男子90kg以下級 ベスト8
この2名は、6月22日(土)~23日(日)に
日本武道館で行われる全日本学生柔道
選手権大会に出場することとなりました。

校友会報
OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS AND LAW



CONTENTS(目次)

- 校友会NOW・支部総会報告...2・第3回校友会総会報告...6
- 事務局掲示板・第4回校友会総会案内・幹事会報告...7
- 大学の近況...10
- 活躍する卒業生...13
- 会員からのメッセージ...14
- 在学生の活躍...16



支部報告 KOUCHI

第2回校友会高知支部総会報告



開催日時;2002年4月13日(金) 18:00~21:00
 開催場所;高知パシフィックホテル
 出席者;19名(卒業生16名、大学3名)

総会内容

- 1 閉会の辞
加藤真司幹事の司会進行のもと、高知支部設立総会を開会した。
- 2 大学代表挨拶
福本憲男教授より代表挨拶が行われた。
- 3 校友会事務局からの報告事項
校友会事務局より、別紙「議案書」に基づいて、下記の概要につき報告があった。
 2000年度事業報及び収支決算書について
 2001年度事業報告(中間)及び収支決算書(中間)について
 2002年度校友会事業計画(検討案)及び予算書(概算)について
 第2期校友会役員について
 校友会の会計及び監査に関する申し合わせについて
 校友会の事務局の設置に関する申し合わせについて
- 4 議事
高知支部規約(案)について
 ・校友会事務局より高知支部規約(案)について説明が行われ、承認された。
 高知支部役員(案)について
 ・校友会事務局より高知支部役員(案)について説明が行わ

れ、承認された。
 5 閉会の辞
 加藤真司幹事の閉会挨拶をもって高知支部設立総会は終了。引き続き、懇親会へと移った。

高知支部役員名簿

支部長	小橋光生 (1期生)
副支部長	森田一信 (4期生)
副支部長	小島正裕 (6期生)
副支部長	永野裕夫 (6期生)
幹事	上西聖司 (3期生)
幹事	岩井 司 (10期生)
幹事	中島修治 (13期生)
幹事	竹村彰洋 (13期生)
幹事	徳橋雅彦 (16期生)
幹事	安岡利通 (18期生)
幹事	中村公穂 (20期生)
幹事	五百蔵恭介(25期生)
幹事	並村 武 (25期生)
会計監査	清遠敬三 (6期生)

支部報告 TOKYO

第2回校友会東京支部総会報告

2001年4月に結成された東京支部第2回支部総会が2月22日(金)東京都港区、本学東京セミナーハウスで12名の卒業生が集い行われた。
 まず、宮松支部長及び勝部校友会副会長より開会の挨拶がなされ、続いて事務局より事業報告、収支予算等の報告、また、2002年度事業計画などの報告、説明が行われた。
 今回の支部総会議事としては、2002年度支部活動及び校友会

支部報告 OKAYAMA

第2回校友会岡山支部総会報告

去る2月9日(土)午後5時より、JR岡山駅前にある「えきまえミヨシノ」にて、第2回岡山支部総会が開催された。当日は、校友会本部から安田校友会副会長と事務局より高岡就職課長補佐をゲストに招き、新しい顔ぶれ7名も加わって、計14名が総会に出席した。
 はじめに出席者全員で自己紹介と近況報告を行い、たいへん和やかな雰囲気の中、津島副支部長の挨拶をもって岡山支部総会が開会された。続いて安田校友会副会長より挨拶をいただき、事務局より11月3日開催の校友会総会及び同日行われたホームカミングデーの様子について報告がなされた。次に審議事項として、中田副支部長より、支部役員の増員について提案。倉敷エリア担当に廣野彰弘氏、津山エリア担当に井上治氏の他、総会参加

者の中から計6名の新役員が新たに選出された。これにより、会員間相互の連絡が密になり、今後ますます岡山支部の活動が活発になることを期待したいとの緒方副支部長の閉会挨拶をもって第2回岡山支部総会を終了、第2部の懇親会へと場所を移した。懇親会では、参加者それぞれの学生時代に話が及び、クラブの話や下宿生活での出来事などを肴に、延々と楽しい酒を酌み交わした。



東京支部役員名簿

支部長	宮松久浩 (9期生)
副支部長	松元秀樹 (14期生)
幹事	山口栄一 (6期生)
幹事	藤崎祐二 (19期生)
幹事	植田 誠 (14期生)新任
幹事	川口尚二 (17期生)新任
幹事	河渕洋平 (20期生)新任
幹事	福岡慎吾 (20期生)新任
幹事	田島直樹 (21期生)新任
幹事	渡邊祥子 (22期生)新任
会計監査	有川武志 (19期生)

事業に対する要望などを取り上げ、各支部での組織の拡大や情報配信、各種事業の企画などの意見を出しあい、今後の支部組織の活性化に向け取り組んで行く方向で再度確認された。
 総会後には、和やかな雰囲気での懇親会が行われ、卒業生の近況報告や思い出話を交えながら、今後より一層の校友会事業の発展を願った。

岡山支部役員名簿

支部長	山田博文 (2期生)
副支部長	津島講一 (4期生)
副支部長	緒形 智 (6期生)
副支部長	中田真平 (13期生)
幹事	花田行玄 (5期生)
幹事	常井 暁 (19期生)
幹事	河崎美都 (20期生)
幹事	岡 信喜 (4期生)新任
幹事	中西邦夫 (6期生)新任
幹事	井上 治 (9期生)新任
	- 津山エリア担当
幹事	廣野彰弘 (11期生)新任
	- 倉敷エリア担当
幹事	董野 剛 (13期生)新任
幹事	三浦義弘 (25期生)新任
会計監査	谷 仁志 (13期生)

支部報告

OKINAWA

第2回校友会沖縄支部総会報告

開催日時;2002年3月8日(金) 19:00~22:00
 開催場所;ロワジ-ルホテル沖縄
 出席者;8名(卒業生7名、職員1名)

総会内容

- 開会の辞
 加藤 真司幹事の司会進行のもと、第3回沖縄支部総会を開催した。
- 校友会事務局からの報告事項
 校友会事務局より、別紙「議案書」に基づいて、下記の概要につき報告があった。
 2000年度事業報及び収支決算書について
 2001年度事業報告(中間)及び収支決算書(中間)について
 2002年度校友会事業計画(検討案)及び予算書(概算)について
 第2期校友会役員について
 校友会の会計及び監査に関する申し合わせについて
 校友会の事務局の設置に関する申し合わせについて
- 議事
 第2期校友会沖縄支部役員について
 ・第2期支部役員については留任。
 今後の沖縄支部の活動について
 ・沖縄支部独自の名簿をつくる。
 次回支部総会開催時期などについて
 ・支部会員が集まりやすい時期を検討する。
 ・卒業予定者(沖縄出身の4年生)も支部総会に参加できるようにしてどうかとの意見が出され、校友会事務局との調整を行うことが確認された。
- 閉会の辞
 具志堅充彦支部長の閉会挨拶をもって第3回沖縄支部総会を終了。引き続き、懇親会に移った。

沖縄支部役員名簿

支部長 具志堅充彦(8期生)
 副支部長 砂川豊蔵(9期生)
 副支部長 安富祖聖(13期生)
 幹事 照屋幸秀(8期生)
 幹事 仲程孝之(18期生)
 幹事 仲間健治(18期生)
 幹事 平安名栄彦(23期生)
 会計監査 嘉数 武(19期生)

支部報告

ISHIKAWA

第2回校友会石川支部総会報告

2000年9月に結成された石川支部は、第2回支部総会を本年5月11日(土)午後6時より金沢都ホテル(出席者6名)で行われた。まず、松井支部長及び安田校友会副会長より開会の挨拶がなされた。続いて事務局より事業報告、収支予算等の報告、また、2002年度事業計画などの報告、説明が行われた。
 今回の支部総会議事としては、2002年度支部活動及び校友会事業に対しての要望などを取り上げ、支部における組織の拡大や情報発信、各種行事の企画などの意見交換をし、今後の支部組織の活性化に向け取り組んで行く方向で再度確認された。
 総会後には、和やかな雰囲気での懇親会が行われ、卒業生の近況報告や思い出話を交えながら、今後より一層の校友会事業の発展を願い、校友の親睦を深めた。

石川支部役員名簿

支部長 松井信司(6期生)
 副支部長 藤田哲文(6期生)
 副支部長 山下浩希(10期生)
 幹事 塩谷修一(14期生)
 幹事 鷲見昌規(25期生)
 会計監査 松本裕昭(24期生)

支部報告

KAGAWA

第3回校友会香川支部総会報告

4月28日(日)、高松市浜ノ町の「海楽亭きらら」を会場に、第3回香川支部総会と懇親会が開催された。総会にはゴールデンウィークの序盤にもかかわらず、多数の校友や家族に出席していただき、1年ぶりの楽しい時間を過ごした。

今回の総会では、2002年度香川支部の活動について第2期支部役員選出について、を審議した。2002年度支部活動については、「支部の総会を、毎年9月に開催している大学主催の父母懇談会(高松)と同じ日(会場)に開催し、父母と校友会香川支部との交流を行えるようにすればどうか」などの意見が出され、実現できるよう具体的な準備を進めることが確認された。

第2期支部役員については、石塚央(6期)支部長より提案があり、2名の新任役員を含めた16名の支部役員(名簿参照)が選出された。

総会終了後は、気軽な雰囲気での交流を行い、校友たちが持ち寄った「卒業アルバム」を見ながら、懐かしい思い出話で盛り上がった。今年9月の第4回総会で再開することを約束しながら、みんなで記念写真を撮り、総会を終えた。

香川支部役員名簿

支部長 石塚 央(6期生)
 副支部長 西川隆二(9期生)
 幹事 中村博寿(7期生)
 幹事 松本 規(7期生)
 幹事 富原廣文(9期生)
 幹事 久保 学(13期生)
 幹事 福田(松本)直樹(14期生)
 幹事 平 好伸(18期生)
 幹事 岡部利次(20期生)
 幹事 橋川 博(20期生)
 幹事 久木田隆(21期生)
 幹事 坂東孝典(21期生)
 幹事 高橋晋也(23期生)
 幹事 澁田博之(20期生)新任
 幹事 松木千佳(23期生)新任
 会計監査 上田英雄(6期生)



第3回校友会総会報告

懐かしい学舎に卒業生が集い、交流を深める卒業生ホームカミングデー 創立30周年記念校友会総会を開催



昨年11月3日、創立30周年を迎えた本学キャンパスにおいて、第3回大阪経済法科大学校友会総会ならびにホームカミングデーが、全国各地から集まった卒業生ならびに在校生、教職員など、約150名が参加する中、盛大に執り行われた。久しぶりにキャンパスに集まった卒業生たちは、まず在学生の案内によるキャンパスツアーに参加し、発展した母校に感動し、数年前に自分たちも主役として関わった「経法祭」にも参加し、昔を懐かしみながら楽しいひと時を過ごした。

総会は、阪本誠常任幹事(1977年度卒業)の司会で進行され、伴井敬司会長(1974年度卒業)の開会の挨拶に引き続き、校友会顧問である藤田整学長より挨拶があった。総会議事では、2000年度事業報告及び収支決算書や2001年度事業計画及び収支予算書などが報告され、会員からの質問や意見交換が行われた。



総会終了後には、ルーズベルト大学記念館へと場所を移し、懇親会が行われた。懇親会では、校友の再会を祝って盛大に「鏡割り」が行われ、同級生同士の輪、先輩後輩の輪、卒業生と教員の輪、とあちらこちらで再会を喜び合う和やかな懇談の光景が見られた。また、「経法祭」で校友会が出店したバザーの売上金全額が、校友会執行委員長に贈られた。

懇親会の後は、ホームカミングデーのメインイベントとして、「和歌山LOVE SONG」他のヒット曲で有名なウインズ<平阪佳久(1980年度経済学部卒業生)・亀岡利幸>のライブコンサートが行われ、後輩にあたる卒業生デュオ、EBISUも登場し、盛大な声援を受けた。

再会の喜びを分かちあうひと時も、あっという間に過ぎ、参加した校友たちは、来年も会うことを約束しながら懐かしい母校のキャンパスを後にした。



WINDS



第4回大阪経済法科大学校友会総会の開催について(ご案内)

大阪経済法科大学校友会は、1999年6月の校友会設立総会以降、校友会報の発行(年間2回)、校友会関連規程及び申合せ事項の制定・整備、地方支部(広島・沖縄・愛知・香川・岡山・石川・東京・福岡・高知)の設立及び支部総会の開催等の事業を行ってまいりました。

また、昨年度は、母校・大阪経済法科大学の創立30周年であり、校友会として、校友会総会とホームカミングデーを経法祭当日(11月3日)に開催し、約150名の出席を得て、成功裡に終えることができました。

さて、標記の件につきまして、校友会会則第12条により、第4回大阪経済法科大学校友会総会を下記のとおり開催いたしました。ご案内申し上げます。

校友会総会は、2001年度・校友会事業及び収支決算書の報告、2002年度・校友会事業計画及び収支予算書の報告等を行わせていただくことはもとより、校友同士の親睦・交流を深める場として、必ずやご期待に沿えるものと確信しております。

つきましては、各位におかれましては、公私ともにご多忙のこととは存じますが、是非とも多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

第4回大阪経済法科大学校友会総会

1日 時 2002年6月22日(土)
午後3時30分より

2場 所 ザ・リッツ・カールトン大阪

大阪市北区梅田2丁目5番25号 06-6343-7000(代表)

校友会総会々場については、同封の案内状をご参照下さい。

総会終了後、懇親会を用意しています。

3 懇親会参加費 3000円

なお、恐れ入りますが、準備の関係上、出欠のご返答を同封のハガキにて**6月15日(土)まで**にお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

【ご注意】

「大阪経済法科大学校友会」は大阪経済法科大学以外に所在地はなく、各地区の校友会支部以外に関連団体も存在しません。類似の名称を使った他団体とは、全く無関係ですので、まぎらわしい呼びかけには、十分ご注意ください。なお、不明な点がございましたら、大阪経済法科大学校友会事務局までご照会下さい。

大阪経済法科大学校友会事務局

電話：0729-41-8211 FAX：0729-41-1510

〒581-8511 大阪府八尾市楽音寺6-10

第13回校友会幹事会報告

第13回校友会幹事会が、5月18日(土)午後4時より、大阪経済法科大学留学生宿舎「I.S.D布施」で開催された。幹事会では、各地で開催された支部総会の報告が行われ、2001年度事業報告及び収支決算書案、2001年度事業計画及び収支予算書案などの審議が行われ承認された。

今回の幹事会の議案承認を受け、6月22日(土)開催の「第4回校友会総会」でその内容が報告されることとなった。(資料参照)

2001年度事業報告

<2001年>

4月13日(金)

○校友会東京支部設立総会を開催

- ・参加者 18名(卒業生15名・教職員3名)
- ・校友会支部規約、校友会支部役員について提案され、承認された。

4月27日(土)

○校友会福岡支部設立総会を開催

- ・参加者 11名(卒業生10名・教職員1名)
- ・校友会支部規約、校友会支部役員について提案され、承認された。

5月19日(土)

○第8回校友会幹事会を開催

- 東京支部及び福岡支部設立総会の報告がなされた。
- 校友会役員選出(案)について提案され、承認された。
- 2000年度事業報告(案)及び収支決算書(案)が提案され、承認された。
- 2001年度事業計画(案)及び収支予算書(案)について提案され、承認された。
- 校友会事務局の設置に関する申合せ(案)及び校友会の会計及び監査に関する申合せ(案)について提案され、承認された。

7月20日(金)

○校友会報(第4号)を発行

- 東京支部及び福岡支部設立総会の報告
- 第2期校友会役員報告
- 2000年度事業報告・2000年度収支決算書の報告
- 2001年度事業計画・2001年度予算書の報告
- 校友会事務局の設置に関する申合せの報告
- 校友会の会計及び監査に関する申合せの報告
- 大学の近況・活躍する卒業生・会員からのメッセージ・校友会トピックス・在学生の活躍・最近の主なクラブ活動、戦績紹介

8月 4日(土)

○第9回校友会幹事会を開催

- 第3回校友会総会及び卒業生のホームカミングデー(母校訪問日)の実施内容について提案され、種々の意見が出された。

9月29日(土)

○第10回校友会幹事会を開催

- 第3回校友会総会及び卒業生のホームカミングデー(母校訪問日)の実施内容について提案され、承認された。
- 校友会の旅費に関する申合せ(案)について提案され、承認された。
- 校友会費の納入状況について報告がなされた。

9月30日(日)

○校友会報(第5号)を発行
第3回校友会総会及びホームカミングデーの開催案内
第30回経法祭の案内
大阪経済法科大学創立30周年記念事業の紹介
大学の近況・活躍する卒業生

11月 3日(土)

○第11回校友会幹事会を開催
第3回校友会総会及びホームカミングデー(母校訪問日)の実施内容の詳細について説明がなされた。
2001年度予算の執行状況報告書(中間)について報告がなされた。
○第3回大阪経済法科大学校友会総会及びホームカミングデーを開催
・参加者 約150名(卒業生約120名・学生、教職員約30名)
2000年度事業報告及び収支決算書について報告がなされた。
2001年度事業計画及び収支予算書について報告がなされた。
第2期校友会役員について報告がなされた。
校友会の会計及び監査に関する申合せ(案)について報告がなされた。

<2002年>

1月19日(土)

○第12回校友会幹事会を開催
第3回校友会総会及びホームカミングデー(母校訪問日)の報告がなされた。
2001年度事業報告(中間)及び2001年度予算の執行状況報告書(中間)について、報告がなされた。
2002年度事業計画(検討案)及び2002年度収支予算書(概算)について説明がなされ、審議された。
第4回校友会総会及び懇親会は、6月15日(土)もしくは6月22日(土)のいずれかの日程で実施することが承認された。
校友会事務局(案)について提案がなされ、承認された。

2月 9日(土)

○第2回校友会岡山支部総会を開催
・参加者 14名(卒業生13名・教職員1名)
・第3回校友会総会の報告がなされた。
・2001年度事業報告(中間)及び2001年度予算の執行状況報告書(中間)について、報告がなされた。
・2002年度事業計画(検討案)及び2002年度収支予算書(概算)について、報告がなされた。
・2002年度岡山支部の活動について、審議された。
・岡山支部役員の増員として、6名の新役員が増員された。

2月22日(金)

○第2回校友会東京支部総会を開催
・参加者 12名(卒業生11名・教職員1名)
・第3回校友会総会の報告がなされた。
・2001年度事業報告(中間)及び2001年度予算の執行状況報告書(中間)について、報告がなされた。
・2002年度事業計画(検討案)及び2002年度収支予算書(概算)について報告がなされた。
・2002年度東京支部の活動について、審議された。
・東京支部役員の増員として、7名の新役員が増員された。

3月 8日(金)

○第3回校友会沖縄支部総会を開催
・参加者 8名(卒業生7名・教職員1名)
・第3回校友会総会の報告がなされた。
・2001年度事業報告(中間)及び2001年度予算の執行状況報告書(中間)について、報告がなされた。
・2002年度事業計画(検討案)及び2002年度収支予算書(概算)について、報告がなされた。
・第2期校友会沖縄支部役員について提案され、全員留任することが承認された。

以上

2001年度校友会収支決算書

2001年4月 1日から
2002年3月31日まで

収入の部 (単位:円)				
項目	予算額	決算額	差異	備考
1 校友会費				
準会員	5,000,000	5,502,500	-502,500	在学生(2001年度生のみ) 2,201件×2,500円
正会員	4,000,000	3,780,000	220,000	189人×20,000円
特別会員	1,000,000	940,000	60,000	47人×20,000円
2 補助金	4,000,000	4,141,448	-141,448	大阪経済法科大学からの補助金
3 懇親会参加費	450,000	243,000	207,000	
4 受取利息	0	200	-200	
収入の部合計	14,450,000	14,607,148	-157,148	

支出の部				
項目	予算額	決算額	差異	備考
1 会議費				
総会	2,500,000	2,065,050	434,950	
幹事会	195,000	172,362	22,638	第8～12回幹事会の開催
支部の設立	900,000	211,945	688,055	福岡・東京支部設立総会及び懇親会
支部総会	690,000	218,391	471,609	岡山・東京・沖縄支部総会及び懇親会
2 印刷製本費				
校友会報	2,500,000	2,268,000	232,000	校友会報第4号・第5号の発行
校友会封筒	650,000	677,865	-27,865	送付状・会費納付書含む
総会案内状	250,000	401,741	-151,741	発送代行費含む
返信用ハガキ	200,000	80,745	119,255	
3 渉外費	500,000	143,000	357,000	香川支部役員会・高知支部設立準備会
4 通信費				
会報発送費等	4,000,000	4,141,448	-141,448	支部総会案内通信費含む
支部総会案内	560,000	2,541	557,459	
5 旅費交通費	500,000	572,640	-72,640	各支部長の幹事会への出席
6 予備費	300,000	134,724	165,276	校友会費振込料受取人負担 校友会会報の作成 キャンパスツアー・アルバイト費 経法祭金券券代金/校友会ゴム印 経法祭パンフレット
小計	13,745,000	11,090,452	2,654,548	
次年度繰越金	705,000	3,516,696	-2,811,696	
支出の部合計	14,450,000	14,607,148	-157,148	

<注1> 校友会費収入額は、2001年度に帰属すべき金額である。よって、その決算額には、2001年度生の入学手続時(2000年度中)納付額2,870,000円を含み、2002年度生の入学手続時(2001年度中)納付額2,857,500円を含まない。
<注2> 次年度繰越金の残高内訳は次のとおりである。
三井住友銀行普通預金残高 2,769,216円
郵便振替口座残高 417,480円
大阪経済法科大学への預け金残高 330,000円
計 3,516,696円

2002年度事業計画

1 第4回校友会総会及び懇親会の開催

開催日時 2002年6月22日(土)
第4回校友会総会
15時30分～16時20分
懇親パーティー
16時30分～18時00分
開催場所 ザ・リッツ・カールトン大阪
大阪市北区梅田2丁目5番25号
06-6343-7000(代表)

総会議事

- (1)校友会会長挨拶
- (2)学長挨拶
- (3)2001年度事業報告及び収支決算書について
- (4)2002年度事業計画及び収支予算書について
- (5)その他

2 校友会支部総会の開催

地方支部が設立されている各県(香川県・沖縄県・愛知県・広島県・岡山県・石川県・福岡県・東京都)の支部総会の開催を支援する。
2003年3月までに設立予定各県(静岡県・高知県・山口県)の支部設立総会を支援する。

3 校友会報の発行

校友会報第6号
・掲載内容
 第3回校友会総会
 支部総会・支部設立総会報告
 第4回校友会総会の案内
 2001年度事業報告及び収支決算書について
 2002年度事業計画及び収支予算書について
 本学の近況報告
 活躍する卒業生
 在学生の活躍(クラブ戦績、資格取得など)
 会員からのメッセージ
・発行予定 2002年5月下旬
・その他 校友会総会案内状及び校友会費納付書を同封する。
校友会報第7号
・掲載内容 未定
・発行予定 2002年10月中旬

4 校友会名簿の発行

2003年度の発行をめざして準備を進める。

2002年度校友会収支予算書

2002年4月 1日から
2003年3月31日まで

収入の部 (単位:円)				
項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1 校友会費				
準会員	10,105,000	5,000,000	5,105,000	<1・2年生分> 4,042件×2,500円 =10,105,000円
正会員	1,000,000	4,000,000	-3,000,000	50名の納入を予定
特別会員	400,000	1,000,000	-600,000	20名の納入を予定
2 補助金	0	4,000,000	-4,000,000	大阪経済法科大学からの補助金 2001年度を以って終了 150人×3,000円=450,000円
3 総会参加費	450,000	450,000	0	
4 受取利息	300	0	300	
小計	11,955,300	14,450,000	-2494,700	
5 前年度繰越金	3,516,696	0	3,516,696	
収入の部合計	15,471,996	14,450,000	1,021,996	

支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1 総会				
総会	2,500,000	2,500,000	0	総会及び懇親会経費
総会案内状	100,000	250,000	-150,000	総会案内状その他
旅費交通費	300,000	100,000	200,000	総会への支部役員出張費
2 幹事会				
幹事会	150,000	195,000	-45,000	幹事会経費
旅費交通費	200,000	100,000	100,000	幹事会への支部役員出張費
3 支部総会				
支部総会	800,000	690,000	110,000	9支部の総会経費
支部設立総会・準備会	450,000	900,000	-450,000	3支部設立予定
支部総会通信費	720,000	560,000	160,000	
旅費交通費	300,000	300,000	0	支部総会への役員出張費
4 会報				
校友会報印刷	2,500,000	2,500,000	0	2回発行
会報発送費等	4,200,000	4,000,000	200,000	
発送代行費	650,000	0	650,000	
5 共通・事務費				
渉外費	200,000	500,000	-300,000	
封筒等印刷	930,000	850,000	80,000	
6 予備費	150,000	300,000	-150,000	
小計	14,150,000	13,745,000	405,000	
次年度繰越金	1,321,996	705,000	616,996	
支出の部合計	15,471,996	14,450,000	1,021,996	



大学の近況

卒業生を代表して法学部坂口 基さんが「20世紀から持ち越された問題を含め、社会には多くの問題が山積している。これらの問題解決の方法を考え、行動につなげていくことこそ、21世紀を担っていく私たちの責務であると同時に、大阪経済法科大学で学んだ意味である」と決意をこめた挨拶をおこなった。

卒業式後、所属ゼミ毎に分かれ、担当教員から学位記が手渡され、在校生の卒業歡送行事もあり、学内各所で別れを惜しむ光景が見られた。



2002年度入学式

4月3日、経済学部563名、法学部569名の新生を迎えて、2002年度入学式が挙行された。経済学部代表・高 栞 優さん、法学部代表・今井力也君が新たな決意をこめて、宣誓文を朗読した。ひき続き、藤田整学長の式辞、岩崎健二八尾市助役からの祝辞を受け、校友会執行委員長の犬角通康君が在校生代表として歓迎の言葉を述べた。

式後は、例年より早く満開を迎えた桜吹雪のもと、多くの新生に保護者も加わり、在校生による新生歓迎行事が行われた。



現役Jリーガーが入学

2002年度入学生には、現役のJリーガー2人も含まれている。法学部1年の朴智星(パク・チソン)さんと法学部3年編入の安孝錬(アン・ヒョヨン)さんは、現在J1の京都パープルサンガでプレーするプロサッカー選手である。同時に2人ともW杯出場の韓国代表チームメンバーでもある。本年日韓共催で行われるサッカーW杯での活躍が期待される。



法学会講演会 「法科大学院って、何？」開催

4月24日午後1時より法学会主催の講演会「法科大学院って、何？」が6500号教室で行われた。2004年4月に開設が予定されている法科大学院について、国府泰道氏(弁護士・大阪弁護士会所属)と岩 村 等法学部教授から分かりやすく説明された。



2002年度フレッシュマンキャンプ開催 新入生の緊張やわらぎ、大学生生活の着実な第一歩を踏み

本年度フレッシュマンキャンプが、入学式の翌日から経済学部(4月4日・5日:新生487名参加)、法学部(4月5日・6日:510名参加)のそれぞれ一泊二日の日程で開催された。

本年度は5会場(サンヒル阪南、信貴山観光ホテル、八尾グランドホテル、ロッジ舞洲、アイ・アイランド)の分散開催形式をとり、新入生の顔が見えるイベントとして実施された。各会場とも新入生が基礎演習クラス単位で研修に参加し、寝食を共にすることによって親睦を深め、基礎演習授業の円滑な運営および大学生活の第一歩をスムーズに進めることを目的に、運営された。基礎演習担当教員、サポートスタッフ(職員)が運営に参加し、文字通り全学で新入生を歓迎する一大イベントになった。両学部とも開催当日は天気にも恵まれ、自然散策を兼ねたクラスミーティングなども行われ、あちこちで和やかに懇親を深める風景が見られた。

一泊二日という短い日程ではあったが、新入生にとっては入学前の不安はある程度解消され、これからのキャンパス生活に対する期待は膨らんだといえるのではないだろうか。



第28回卒業式を挙行 - 856名が社会へ巣立つ -

本学第28回卒業式が3月18日(月)午前11時より総合体育館『尚淑館』において行われた。各界からの来賓、父母、在学生など多くの方々の祝福と声援のもと、経済学部451名、法学部405名、計856名(内、女子80名、留学生15名)の卒業生が晴れて社会へと旅立った。

藤田 整学長より経済学部総代吉田雄三さん、法学部総代坂口 基さんに学位記が授与され、卒業生への激励の言葉が述べられた。その中で、病気によって歩行不能、両上肢挙上困難などの重い障害にも関わらず車いすで通学し、立派に学業を修了し、卒業を迎えた経済学部の松崎弘収さんと介護を続けられたお母さんの精励ぶりを称え、満場から拍手が送られた。

大阪経済法科大学校友会の伴井敬司会長から祝辞を受け、続いて成績優秀者および課外活動において優秀な成績を収めた卒業生へ各賞が授与された。スポーツ功労賞の小寺昭子さんは、3回連続全日本学生テコンドー選手権大会女子フライ級優勝、2001年度全日本テコンドー選手権大会女子フライ級優勝など数々の大会での優秀な成績を上げている。

学生大食堂リニューアルオープン



今年度からルーズベルト会館の学生大食堂が全面リニューアルオープンした。

食堂の改善は、内装設備の改装とともに、食堂業者も交代し、全面リニューアルした。

まず内装面が大きくイメージチェンジした点が目を引く。グリーンとオレンジをメインカラーに、学生大食堂らしく若々しく、暖かみのある配色となっている。またピクトデザイン(絵で表現されたサイン)を多用し、機能的なイメージを高めているのも特徴的だ。照明数の増加とも合わせて、明るくて活気のある食堂へと大きくイメージチェンジした。

これらのデザインに加えて、レイアウトも工夫している。カラーで「人の流れ」「ホール」「厨房」のエリアを明確にしている。また食券を買って注文する形式ではなく、カフェテリア方式でカウンターの両サイドにレジを配置する形にレイアウトを変更している。

肝心のメニューについては以前よりも豊富になった。特に人気があるメニューは大きなチキンカツを使ったカレーとカツ丼で、ボリュームも満点だ。新たにメニューに登場したスパゲティも好評で、日替わりでトマトベースとクリームベースが1品ずつ提供されている。生類を使った本格派スパゲティというのが、食堂営業の担当者、日米クックの自慢だ。またカフェテリアコーナーでは、唐揚げ、ハンバーグ、鯖の味噌煮、豚肉の生姜焼き、イワシのフライなどのメインメニューに加えて、サラダ、デザート、プリンなどのサイドメニューも提供している。

学生にインタビューしてみると、「きれいになって落ち着いた環境になった」、「味も量も良くなった」、「和洋中両方食べられて良い」など、反応は概ね良好なようだ。しかし、「日替わり定食な



ど定食メニューを作してほしい」、「昼休み開始直後が混んでいて時間がかかる」、「並び列が分かりにくい」などの不満や意見も聞かれた。今後も引き続き、学生からのアンケートも積極的に活用し、大学と業者が協力して問題点の把握と改善に努める方針だ。本学には遠方から来た自宅外生も多く、食堂の充実が学生が健康な大学生活を送る上で欠くことのできないものだ。日々、「リニューアル」する学生食堂として運営されることを、大いに期待したい。



活躍する卒業生

活躍する卒業生



兵庫県警 警部補

平瀬 実さん
(1978年度法学部卒業)

「足痕採取」と言われてピンとくる人は少ないかも知れないが、「足がつく」という言葉は聞き覚えがあるだろう。事件の解明につながる手がかりがあったときに使われる言葉で、足跡を採取する鑑識活動に由来している。その足痕採取に画期的な効力を発揮する「帯電足跡シート」を開発し、文部科学大臣賞を受賞されたのは、本学法学部卒業の平瀬 実さんである。2002年度フレッシュマンキャンプでのスピーチされた機会に平瀬さんにお話を伺った。

—まずは、文部科学大臣賞受賞、おめでとうございます。法学部を卒業されて技術開発で賞を受けられるのはまれなことですね。

平瀬 私は昭和54年に兵庫県警で警察官を拝命し、最初交番に配置されました。次いで灘署、機動捜査隊などを経て、兵庫県警本部刑事部鑑識課に配属されました。生え抜きの専門家でなかったのに、新しい発想で、鑑識活動の方法を考えることができたのだと思います。「帯電足跡シート」の開発について、平成12年度に申請し、平成13年度の文部科学大臣賞を頂くことができました。

—鑑識活動と受賞された「帯電足跡シート」について教えていただけますか。

平瀬 鑑識活動とは、普通の「人に聞く」捜査とは違った「物に聞く」捜査です。その中でも足痕跡を採取することは事件解明の非常に重要な手がかりとなります。

足痕跡捜査は人の足跡だけが対象ではありません。足痕跡のほか、車両のタイヤ痕、ドライバーやベンチなどの工具痕のほか、鼻、耳を壁などにつけたときにつく鼻痕、耳介痕など、指紋以外のすべてが含まれます。

足痕跡には「万物不同」という言葉があてはまります。この「万物不同」というのは、それぞれの物には必ずその物だけの特徴があるということです。例えば、画一的に製造された靴でも、履いた人が歩いてきた傷やすり減り方など、同じ靴でもどこかに違いが

できるものなのです。

—足跡の鑑定は具体的にはどのようにするのですか？

平瀬 採取した足跡と靴の双方の異なる写真を作成し、重なり具合を調べる「重合法」、靴の欠損部分が採取したものと一致するかどうかを調べる「指摘法」、傷と傷の距離を調べる「計測法」、足跡の写真を切断し、採取したものと一致するか接合して調べる「接合法」の4種類があります。このうち、2種類から3種類を使って鑑定を進めます。

—それでは、「帯電足跡シート」とは従来の方法とどう違うのでしょうか。

平瀬 従来は「静電気微物採取器」という大きな機械で電流を流して、静電気を起こす塩化ビニールのシートを使用していました。この機材は、絨毯や畳で足跡が取りにくく、コンクリートの駐車場などでのタイヤ痕の採取も困難でした。犯罪は多発しており、形態もさまざまなので、柔軟にそれらに対応し、もっと簡単に採取できる方法はないかと考えていました。「帯電足跡シート」は物から離れるときに発生する静電気を利用するため、この「静電気微物採取器」が不要です。シートの大きさも幅40センチ、長さ50メートルで、広い範囲の鑑定が可能になりました。

ある時、子供が下敷きの静電気髪をくっつけて遊んでいる姿が目につきました。「物と物が離れるときに発生する静電気が利用できるのでは」と思ったのです。

静電気が発生しやすい材質で、ダイオキシンなどが発生しないように家庭ゴミとして燃やせる素材、粘着力が強すぎない素材という条件を考慮し、ポリ袋などに使う特殊ポロレフィン系の素材を使って、「帯電足跡シート」を開発しました。

新しいシートは薄さが100ミクロンのため、表面がざらついた形状のものからでも、足跡の採取ができるようになりました。

—なるほど随所に現場の工夫が反映された発明ですね。そのように打ち込まれる鑑識の魅力とはなんですか？

平瀬 物に物を言わすことです。真実を語っていることをどうやって聞き出せるかで、人に聞いていく普通の刑事と違うところがあります。現在は、葦合署刑事一課に異動し、刑事に戻りましたが、鑑識を経験することで、事件や現場についての見方が広がったと思います。

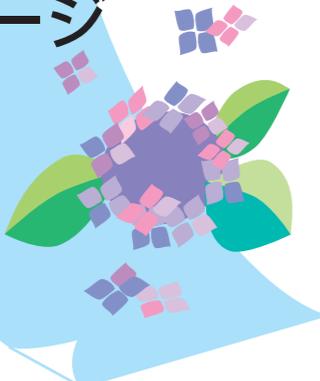
—今回は、フレッシュマンキャンプで法学部新入生に対してお話をさせていただきましたが、大学生活はどのように過ごされましたか？

平瀬 大学時代は人間関係が大事だと思います。私は、在学中は空手道部の練習に集中していましたが、今は子供の頃からその年代に応じた友達との遊びがなくなっているのが、青春時代にクラブで練習したり、コンパをしたりすることが対人関係の進歩のきっかけになると思います。会社がクラブ活動の経験者を評価するのは、苦しい練習に耐えて、また視野が広がっているからでしょう。またそのときの友人・仲間とは今でもつきあいが続いています。是非大学4年間をいろいろな幅を持って過ごして欲しいと思います。

—どうもありがとうございました。

会員からの メッセージ

校友会事務局に寄せられた
会員みなさんからの
メッセージのご一부를紹介する。



4期生 山崎 清 1977年度法卒業
總會のご盛會を祈念しております。

6期生 池田 康裕 1979年度法卒業
私は大きな文學賞を受賞し、作家としてデビューします。しかし私は學歷を高卒と発表します。

10期生 兼宗 明彦 1983年度經濟卒業
校友会が開かれていることを以前から楽しみにしていましたので残念ですが用事があって、2月9日、10日と県内にはいません。ぜひとも参加したいのですが、どうしても行くことが出来ません。次回早いうちに、また總會が開かれることを待っていますので、是非とも連絡をお願いいたします。

10期生 山下 弘記(浩希) 1983年度法卒業
念願の弊社本部新工場が昨年11月完成し今年も更に母校同様成長発展したいと願っています。弊社HPもご覧ください。

11期生 廣野 彰弘 1984年度經濟卒業
校友会の發展をお祈り致します。

14期生 渡辺 誠(植田) 英会話研究会
1987年度經濟卒業
情報交換の場として参加させて頂きます。楽しみに待っております。

14期生 河野 和教 1987年度法卒業
お便り頂いたのに申し訳ありません。4月は1ヶ月出張しており、案内をみるのが遅れました。次回は必ず出席したいと思います。校友の方との語り合い楽しみにしています。

15期生 伊藤 ゆかり(岩山) 1988年度法卒業
會報で知っている人の名前を見つけると、大學時代の思い出がよみがえって、すごく懐かしくて会いたくなりますね。みんなそれぞれ色々な人生を歩んでいるのだ・・・と、元気で頑張っているのだとわかると、私自身のエネルギーに変わる気がします。

16期生 宮崎 洋行 1989年度經濟卒業
皆様方の御活躍をお祈りしております。

16期生 砂野 暢宏 1989年度法卒業
偏差値の低い大學を卒業し、コンプレックスを持っていました。しかし、夢さえ持っていれば何とかなります。人間の能力の差なんてほとんどないと感じています。決して諦めずに挑戦し続けなければ必ず道は開けます。

17期生 山田 健治 写真部 1990年度經濟卒業
初めてメールします。偶然インターネットでホームページを見つけました。大學卒業後、7年間日本で働いた後New Zealandにきました。現在永住権を取りレストランのマネジャーとして働いています。いろいろ情報があれば送って頂けますか?宜しくお願いします。

17期生 世古 大 空手道部 1990年度經濟卒業
東京から大阪へ転動しました。欠席を連絡すると共に住所変更に伴う手続をお願いします。お手数をおかけしますが、よろしく願い申し上げます。

17期生 川口 尚二 1990年度法卒業
今回初めて、支部總會に出席させて頂きます。不景気ですが関西は星野仙一景気でわいていますでしょう。Wカップでも、景気を良くしましょう。

18期生 平 好伸 柔道部 1991年度法卒業
久しぶりの校友会、仲間に出会い、今年は本格的に活動に精一杯努力致します。今後各支部ますます設立させて頂きますよう関係者各位・努力に期待いたします。

19期生 常井 暁 1992年度經濟卒業
明けましておめでとうございます。仕事・JCに充実した毎日を送っています。岡山支部幹事としてお手伝いさせて頂いていますが、お気軽に皆さんも参加し、友好を深めていきましょう。今年度のJC活動は教育関係の委員会で活動しています。子供の教育・地域の父親として

19期生 小林 弘樹 剣道部 1992年度法卒業
4月に転勤で7年ぶりに大阪に戻れることになりました。

20期生 福岡 慎吾 1993年度經濟卒業
初めての参加で緊張しますが、大変、興味深く楽しみにしております。

21期生 田嶋 直樹 サンボ部 1994年度經濟卒業
2001年11月「九州自然歩道を歩く」(葦書房)より出版。「平成13年度自然歩道関係功労者」を環境省自然保護局長より表彰を受ける。

22期生 渡邊 祥子 1995年度經濟卒業
友人と8月に芝居をやる予定です。
Http://members.goo.ne.jp/home/tamatoza興味のある方、ぜひのぞいてみて下さい。脚本・演出担当です。

21期生 早川 雅史 スポーツプロジェクト 1995年度經濟卒業
現在海外にいますので出席できません。

22期生 飯塚 勝也 ユースホステル部
1995年度法卒業
ただ今水戸の方に住んでおります。仕事の関係上支部總會には出席できませんが、現在の大学の最新情報等ございましたらご連絡下さい。もっと大学が有名、知名度が上がり全国規模で学生が志望する総合大学になるよう願っております。

25期生 後藤 孝昭 傾聴会 1998年度經濟卒業
昨年は別府マラソンに出場するといっておきながら制限タイムを切れずに出場なりません。今年は1ランク上を目指して東京国際マラソンをねらっています。

23期生 カク イツクン 1996年度經濟卒業
1995年から1997年まで経済学部で勉強していた中国の留学生です。今中国に戻っています。大学で日本語教師の仕事しております。大阪経済法科大学が懐かしくて、昔の先生や同窓生に、もう一度会いたいです。

訃報 ご冥福をお祈り申し上げます。

10期生 荒木 正志 バスケットボール部
1983年度經濟卒業
いつもお便りありがとうございます。正志は残念ながら平成13年3月7日死亡しましたので、お知らせします。

校友会会費納入に関して

校友会の皆さまへ

前号の校友会報5号にて「会費納入のお願い」をいたしましたところ、多数の方々から会費納入がありました。会費納入して下さった校友各位には、心より感謝いたしますとともに、まだ会費納入されていない校友各位には、引き続き今後の校友会事業に多大なるご支援を賜りたく、別添の「払込取扱票」にて校友会会費の納入をお願い申し上げる次第であります。

尚、校友各位の現住所等の変更がある場合には、「払込取扱票」の住所欄に新住所をご記入下さい。

各支部の連絡先

東京支部	支部長 宮松 久浩	勤務先 伊藤志ウインドウズ(株) 関東営業所	所長 TEL03-5549-4451 E-mail:miyamatsu@itcw.co.jp
愛知支部	支部長 中町 守人	住 所 〒457-0802 名古屋市南区要町5-86(有)中町印刷	TEL052-612-0120
石川支部	支部長 松井 信司	住 所 〒920-0935 金沢市石引1-13-14	携帯電話090-8267-5172 E-mail:smatui@po3.nsknet.or.jp
岡山支部	支部長 山田 博文	住 所 〒715-0021 井原市上出部長1097	TEL0866-62-4798
香川支部	支部長 石塚 央	住 所 〒763-0072 丸亀市山北町529-1	携帯電話 090-5144-7096
広島支部	支部長 拵田 博昭	住 所 〒733-0033 広島市西区観音本町1-13-21	
福岡支部	支部長 力武 英登	勤務先 (株)不二越・九州支店 機械工具グループ	TEL092-441-2505
沖縄支部	支部長 具志堅充彦	住 所 〒904-2214 具志川市字安慶名309	TEL098-972-3388